

# たいくへ通信 第十二号「冬のはり」

たいくへ

日頃より当神社での神明奉仕にご協力を賜り、ありがとうございます。

社殿・社務所の新築工事終了からまもなく一年となります。初めて経験することも多く、対応が不十分なため、崇敬者・参拝者の皆様にはご不便ご迷惑をおかけすることが多々あり、申し訳ありませんでした。一年の間に、正面スロープに手すりを設置、門の前、社殿前の段差軽減をはかりました。また、新年からは社殿入り口にも踏み台を置いて、昇殿参拝の際のご負担を減らすことを試みます。皆様にさらに安心してお参りいただける環境を整えるよう心がけたいと考えております。忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

ここでの急激な気温の変化で体調を崩されているかたも多いようです。年末年始の慌ただしい時期となります。くれぐれもお体に気をつけてお過ごしくださいませ。

大國神社 宮司 大島資生

## 大國神社の今

(1) 「銘板ができました」



去る十一月、当神社の社殿・社務所新築に当たってご寄付をくださった皆様の御名前を銘板に記し、社殿内に納めさせていただきました。多くのかたがたからご支援をいただきましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。皆様の暖かいお気持ちにお応えすべく、微力ながら努力してまいり所存です。今後ともよろしくご指導ご鞭撻のほど、お願いいたします。



(2)「植栽の手入れをしました」  
年末恒例の植栽の手入れを行いました。それに合わせ、玉砂利をいれました。境内の躑躅が間も無く花の時期を迎えます。



## お宮あれこれ〜狛犬の話〜

神社の境内ではしばしば狛犬を目にします。最近は神社巡りをなさる方の中にも、熱心に調べていらっしゃる方も多いようです。

今回はこの狛犬についてお話しいたしましょう。  
古代インドでは仏像の前に守護獣として獅子(ライオン)の像を置いていました。仏教の伝来とともに仏像が日本に入ってきた際、獅子像が伝えられたのが、狛犬の起源だそうです。  
奈良時代までは左右とも獅子を配置するのが一般的でしたが、平安時代になって、社殿に向かって右に口を開いた獅子、左に口を閉じて角のある狛犬という組み合わせが一般的になりました。角のある像の例として、大阪府藤井寺市にある道明寺天満宮の狛犬像の写真を載せておきます(下段の写真)。



昭和以降は左右二体のどちらにも角がないものが多くなりました。形から言えば「獅子」なのですが、慣例にしたがって「狛犬」と呼ばれています。

「獅子」も「狛犬」も、想像上の動物で、実際に見た人はだれもいません。絵画や像を制作する際も、想像で作るしかないので、実際のライオンや犬とは全く違う姿になったと考えられます。

平安・鎌倉の古い時代、狛犬は神像・仏像とともに





屋内に置かれていました。神像や仏像は木製のものが多かったため、それに合わせて木で作られていました。屋外に置くように、石で作られるようになったのはもつと後の時代からです。

さて、右が口を開け、左が口を閉じている狛犬の姿は「阿吽（あ・うん）」というサンスクリット（梵語）を表わすとされます。「阿」はサンスクリットの最初の、口を開けて発音する文字、「吽」は最後の、口を閉じて発音する文字だそうで、物事のはじめと終わり、すなわち森羅万象を表わすものと思われます。狛犬がこのような形をとるようになったのは、仏教の守護神である仁王の像から影響を受けたものようです。二体の守護神像がぴたりと呼吸を合わせて寺院を守っている姿、そこから「阿吽の呼吸」という表現も生まれました。



最後に、息を合わせて当神社を守ってくれている狛犬さんたちをご紹介しますおきましよう。上段が左、下段が右の狛犬です。台座の銘によりますと、昭和十五年、紀元二千六百年を記念して奉納されたとのこと。



## 祭礼・祈祷のご案内

○次回甲子祭

平成二十五年二月二十七日(水) 初甲子

(ご)祈祷時間 午前五時～午前八時

初甲子祭(ご)祈祷日 三月三日(日)午前六時～午後二時

平成二十五年 初詣・ご祈祷受け付け時間

一月一日(火) 午前零時開門～午前二時・午前六時～午後五時

二日(水)・三日(木) 午前八時～午後五時

四日(金)～六日(日) 午前八時～午後三時

七日(月) 午前八時～正午

十日(木) 初子 午前八時～午後二時

○開運千人講祈祷祭 毎月一日(午前六時～正午まで)

○お祓いのお申し込み・お問い合わせなどは以下の電話番号にお願いたします。

不在の場合は、恐れ入りますが、留守番電話のメッセージのあとで、お名前・お電話番号・ご用件をお話してください。のちほどこちらからご連絡いたします。

○諸祈祷受付 商売繁盛祈願、心願成就祈願、厄除け、お宮参りなど、随時祈祷を行なっております。祈祷日時については、

お電話にてご相談ください。

〈お問い合わせ・お申し込み〉

○三三三九一八七九三〇

お急ぎの場合は携帯電話へ ↓ 〇八〇一九八七七八七二六

eメール [daikokujinja@gmail.com](mailto:daikokujinja@gmail.com)

### 次号発行予定

「だいきく通信第十二号」、いかがでしたか。次号「春の号」は、平成二十五年二月二十七日の甲子祭に発行予定です。どうぞ良いお年をお迎えくださいませ。

「だいきく通信」第十二号 平成二十四年十二月二十九日発行  
編集・発行 大國神社社務所

〒一七〇—〇〇〇三 東京都豊島区駒込三—二—十一

<http://www.daikokujinja.org>

